

信州大学サポーターズクラブメルマガ第 86 号 2020 年 10 月 30 日

信州大学サポーターズクラブ

メ | ー | ル | マ | ガ | ジ | ン | 第 86 号 |

信州大学サポーターズクラブ事務局

2020 年 10 月 30 日

-----毎月月末に配信しています-----

【 I N D E X 】

シンダイ百科

信大からのお知らせ

名誉教授より皆さんへ

信州の景色

■■■■■■■■■■【 シンダイ百科 】■■■■■■■■■■

「信州大学混声合唱団」

をご紹介します！

「信州大学混声合唱団」は 1969 年に、それまで信州大学にあった 2 つの合唱団を合併して創立しました。現在は全学部に団員がおり、約 65 人が所属しています。松本キャンパスと教育キャンパスで毎週練習を行い、県の合唱祭や地域のイベントにも参加するという精力的な活動を続けているとのことです。今回はサークル代表の農学部横尾さんにお話を伺いました。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

■■■■■■■■■■【 信大からのお知らせ 】■■■■■■■■■■

災害アーカイブ展が開催されています

今年の台風19号におきまして、災害の犠牲となられました方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されました多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

今年の台風災害から1年が経ちますが、当時の様子を伝えるアーカイブ展が始まっています。オンライン特設ページでの閲覧のほか、長野県内の各所での展覧も同時開催されています。この機会にご家族や友人と災害とその備えについて見直してみませんか。

○詳細はこちらから

(信州大学 災害アーカイブ展のお知らせ)

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/event/other/109.php>

○災害アーカイブ展特設ページ

https://kamishiro.shinshu-bousai.jp/archive_exhibition/

■=====【名誉教授より皆さんへ】=====■

今回は信州大学の前学長で名誉教授の山沢清人先生よりご寄稿いただきました。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

■=====【 信州の景色 】=====■

アルプス公園から松本平を眺める

今年の10月は曇り空や雨が続き「爽やかな秋晴れ」とはほど遠い空模様でしたね。一日の最低気温も例年以下の日が続いたため、18日には北アルプスや志賀高原、ハケ岳連峰でも初冠雪を記録したとのことでした。そんな中、晴天に恵まれた日に、北アルプスの写真を撮ろうと松本市アルプス公園に行ってきました。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

メルマガのバックナンバーはこちらから

<http://koyukai.shinshu-u.ac.jp/mail/>

『信州大学サポーターズクラブメールマガジン』

編集・発行/信州大学サポーターズクラブ事務局
長野県松本市旭 3-1-1

【 Mail 】 koyukai@shinshu-u.ac.jp

【 H P 】 <http://koyukai.shinshu-u.ac.jp/>

【 F B 】 <https://www.facebook.com/shindai.koyukai>

2020.10.30



Q)信州大学混声合唱団はどんな団体ですか？

A)1969年に信州大学の2つの合唱団「ペレグリーナ合唱団」「長野混声合唱団」の合併により「信州大学混声合唱団」が生まれました。活動は地域の行事から団独自に企画する定期演奏会まで様々で、特に自分たちの歌いたいという気持ちを十分に発揮することを目指して日々の練習に励んでいます。



【2019年11月 第51回定期演奏会のリハーサルの様子】

Q)主な活動内容を教えてください

A)定期的実施している活動は、毎週火曜と木曜に松本キャンパスと教育キャンパスで行っている通常練習、毎週土日の片方で松本市の公民館を利用して行っている合同練習があります。また、県の合唱祭や安曇野の公園で行われる「五月の風」という野外音楽祭にも毎年参加しています。定期演奏会は11月ごろに松本と長野で毎年1回ずつ行っており、1年の成果を発表する大きな舞台となっています。

これまでの実績としては、2019年第6回大学合唱コンペティション&コンベンションで金賞を受賞し、軽井沢国際合唱フェスティバル2019にも出場いたしました。



【2019年8月『軽井沢国際合唱フェスティバル』に参加 軽井沢大賀ホールにて部員全員で記念撮影】

Q)今後、力を入れていきたい活動を教えてください

A)2020年11月28日(土)に長野市芸術館にて信州大学混声合唱団第52回定期演奏会を開催します。本演奏会は3ステージで構成されており、第1ステージでは我々団員が慣れ親しんだ愛唱歌を歌う「愛唱歌ステージ」、第2ステージでは学生指揮者が厳選した海外の曲を歌う「現代外国語曲アラカルトステージ」、第3ステージでは外部から合唱指揮者である雨森文也先生とピアニストの平林知子先生をお迎えして名曲と名高い混声合唱組曲「光る砂漠」を演奏します。演奏会が軒並み中止となってきた中、演奏会開催に向けて準備してきました。皆さま是非足を運んでくださると幸いです。



【2018 年 信州大学混声合唱団第 50 回定期演奏会の様子】

今年は様々なイベントが中止あるいは規模縮小を余儀なくされていますが、貴団体の1年の集大成である定期公演が無事に迎えられることを祈ります。この状況に負けず頑張ってください。ありがとうございました。

信州大学サポーターズクラブ【名誉教授よりみなさんへ】第86号

北杜夫著「神河内」の読書感想文に見る旧制松高生と信大生との繋がり

山沢清人 信州大学名誉教授

信州大学では、「大学生基礎力ゼミ」という名称で、1年次生を対象に大学で必要とされる知識やマナー、さらに自分の入学した大学の歴史や特徴を学ぶ授業を2013年から開講しています。特に、2019年からは信州大学の偉大な先輩の一人として北杜夫（齋藤宗吉）氏に着目し、同氏の作品「神河内」を読むこととしました。授業では、主人公と学生自身の状況（松高／信大を選んだ理由・学業の様子・生活の様子や町の様子・趣味の世界など）を比較して、共通点や異なる点を見つける作業をします。その後、読んだ感想や松本への印象などを、学生同士で話し合い、松本で学び生活するということに、少し特別な意味を持たせたいと考えました。

テキストには、「神河内」を掲載した信州大学新入生ハンドブック2019を使用しました。これは、新入生ハンドブック編集委員会の努力によるもので、「神河内」の著作権管理者でいらっしゃる齋藤喜美子様（北杜夫氏奥様）に新潮文庫刊『北杜夫著「母の影」より「神河内」』の前半部分の「転載許可」を願い出しました。奥様からは、2016年に信大図書館で開催された北杜夫展のご縁もあったのでしょうか、快く5年間の無償提供のご許可を賜りました。

さて、学生は「神河内」を読んでどのように感じたのでしょうか。『「偉大な先輩」がやはり18歳だったころ、自分たちと同じような感性をもって松本で暮らしていたのだ』ということが響いたようで、同志感にも通ずる共感が多くの感想文から伝わってきました。また、「神河内」以外の北杜夫の作品をもっと読みたい、父上の齋藤茂吉の作品も読んでみたいなどの感想も見られました。

また、感想文集を奥様にお送りしたところ、北杜夫氏のご仏前にお供え頂き、次のようなお礼のお手紙を頂きました。『よく今どきの若者は一との言葉を耳にいたしますが、感想文では信州大学に入学された喜びと期待そして若者らしい初々しさと瑞々しさが感じられました。信州で豊かな学生生活を送られるのだーとかつて主人が青春を過ごさせていただきました御地、そして学校に改めて感謝の気持ちが湧いて参ります。』

この奥様のお礼状を読み、講義を担当した教員の一人は『学生の素直な気持ちがご家族に伝わったようで、また北杜夫大先輩のご霊前にもお供えしてくださって、私もこの松高－信大の共同体に入れたような気がしました。偉大な先輩とつながるということはこういう気持ちになるんですね』と感慨深げに話をしてくれました。担当教員一同、全くの同感でございます。

学長退任後の短い期間でしたが、「大学生基礎力ゼミ」の授業を担当できたことを大変嬉しく思うとともに、誇りを感じています。

信州大学サポーターズクラブ【信州の風景】第86号

公園の駐車場そばの木はすでに紅葉が始まっていました。



園内には「山と自然博物館」があり、5Fが360°パノラマを楽しめる展望台になっています。先日の初冠雪を記録した常念岳、横通岳、東天井岳も一望できました。



きれいな三角形で半分以上雲に隠れてしまっているのが常念岳で、その横の頂きに雪が残っているのが横通岳、東天井岳といった山々です。



爺ヶ岳や鹿島槍岳、白馬三山の方は残念ながら霞んでいて雪がどのくらい降ったのかは確認できませんでした。



紅葉シーズンは始まったばかりです。菊の花の咲くころ、１１月ごろに見られる秋晴れの良い天気のことを「菊日和（きくびより）」ともいうそうです。週末や祝日は紅葉や菊の花を楽しめるような菊日和になるといいですね。